



安全はすべてのものに優先されます。深谷市シルバー人材センターにおいては、毎年10件以上の事故や災害が発生しています。しかし、その事故の内容は、会員に伝える手段が無かったためかほとんど伝えられていません。もし、知ることができれば、似たような事故や災害は防げるのかもしれませんが。そこで、安全委員会でも話し合い、「安全だより」を発行したいとの議決がされました。そして、理事会の承認を得、ここによりやく発行することができました。今後、事故情報や安全情報をなるべく早くお届けしたいと考えております。

事故報告

深谷市シルバー人材センターにおいて、今年発生した事故の報告です。事故を起こすと、シルバー人材センターの信頼度低下の可能性がります。事故を防ぐには、会員の一人ひとりが、自身の問題としてとらえて取り組むことが大切です。

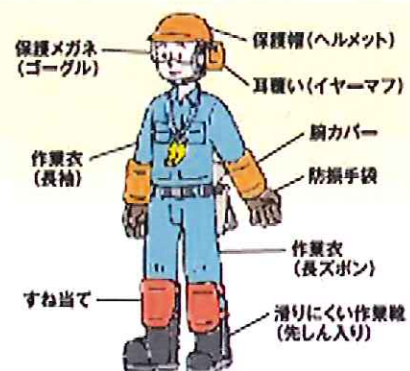
年 月	時刻	性別	年齢	仕事内容	事故の型	概 要
H30.05.24	11:00	男	81	一般作業 (屋外)	飛来・落下	草刈り作業中、近くに停めてあった車両の後面に石が飛び傷をつけた(防護ネット使用)
H30.06.22	11:00	男	76	一般作業 (屋外)	飛来・落下	草刈り作業中、付近の個人宅玄関上部のガラスを飛び石により破損した
H30.07.18	10:15	男	78	一般作業 (屋外)	交通事故 (道路)	消毒散布作業をするため自動車を運転中、交差点において一時停止を怠り交差点内に侵入したところ、右から交差点に入ってきた相手車両と接触し相手車両の左前部のヘッドライトを破損させた
H30.07.26	8:15	男	78	一般作業 (屋外)	交通事故 (その他)	消毒散布作業のため車両を車庫から移動する際、シャッターの支柱にドアが当たり右ドアが破損した(支柱損傷なし)

草刈りの刈払機の事故は、全国のシルバーで年間2000件近く発生しているとの報告があります。消費者庁においても、昨年7月に刈払機に関する情報を公開しています。

刈払機の作業時の回転数は、1分間7000回転から10000回転にもなり、刈刃に接触した小石が、最大時速130km/hで、50m以上先まで飛散するという結果がでています。

**作業前に現場確認を確実に
行い、防護ネットや刈刃の正しい
選択を行うなどの対策を確
実に行ってください。**

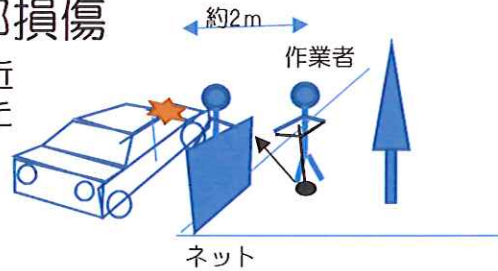
裏面に上記飛び石事故についての記事があります



刈払機による飛び石の事故を防ぎましょう

ケース1 飛び石により車両後部損傷

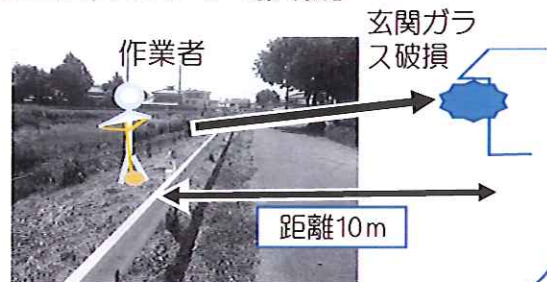
草刈り作業中、防護ネットを使用していたが、近くに停めてあった車両の後部に石が飛び傷をつけた
(防護ネット幅1m、高さ1.5m使用)



注：防護ネットの位置、高さ等が最適でなく、飛び石が防げなかった

ケース2 飛び石により民家玄関上部ガラス損傷

斜面を草刈り作業中、飛び石により、道路の先にある約10m先にある個人宅玄関上部のガラスを破損した



注：斜面草刈りで道路を挟んだ民家まで飛び石が飛散（距離約10m）

このような例は全国で多数報告されています。

深谷市シルバー人材センターにおいても、刈払機による飛び石の事故を起こさないよう、細心の注意を払い作業を行っていただきたいと思えます。

- ①作業前の現場確認を確実に行ってください。
- ②人や車への飛び石での災害を起こさないよう、作業者が相互指摘しあい、必要に応じて車両の移動をお願いしてから安全に作業してください。
- ③車や民家への飛び石の危険が考えられるときは、防護用のネットを効果的に配置し、防護処置を図ってください。
(防護用のネット配置は最適位置に設置しなければ飛び石防止効果はありません、ネットを使用するケースでは周囲に注意しながら使用してください)

安全委員会報告

・7月20日

埼玉県シルバー人材センター連合の安全就業推進大会が行われ委員会として4名出席しました。

草加市の安全への取り組み発表、

加須市の健康増進の取り組み発表などがありました

・7月26日

安全委員会が開かれ委員長、副委員長が決まりました。

委員長 髭右近義雄

副委員長 小山進 佐藤光義

メンバー 清水進也 浅見文雄 諸橋忠文

佐藤秀男 関根幸雄 清水正司

富所健二 吉川芳明 鎌田義夫

編集後記



第1号をお届けいたします。慣れない作業で大変でしたが、発行にこぎつけて一安心しています。

今後は、会員の皆様のご意見を参考にし、より良いものを目指して頑張りますので、なにとぞよろしく願いいたします。

安全委員会 編集委員一同